

2026 年 7 月 21 日

報道関係各位

一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会

学生からビジネスパーソンまでが社会課題と向き合い 創造性を高め合う市民大学 「第 11 期 丸の内プラチナ大学」開講

開講日：各コース共通 DAY1 8 月 21 日（金） 18:30～20:30
※DAY2 以降、各コース 4～7 回の講座を実施（2027 年 3 月まで）

開催場所：3×3Lab Future
（東京都千代田区大手町 1-1-2 大手門タワー・ENEOS ビル 1 階）

プログラム：講師陣によるトークセッション（3 部制）、オリエンテーション・ガイダンス
※トークセッションのみオンライン配信



大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり 3 団体^{*1}の一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会^{*2}（以下、エコツェリア協会）は、三菱総合研究所の未来共創イニシアティブ、一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワークと連携し、市民大学「第 11 期 丸の内プラチナ大学」を 2026 年 8 月 21 日（金）に開講します。

丸の内プラチナ大学は、2015 年のプレ講座を皮切りに 2016 年より第 1 期をスタートし、今年で 11 期目を迎えます。日本全体の活性化を目指す地方創生や、人生 100 年時代のキャリア、ソーシャルビジネス、再生可能エネルギー、ウェルビーイングなど、話題のテーマについて学びながら想いを共有するコミュニティを育み、参加者の今後のキャリアやライフデザインを考えるきっかけを提供します。今年度は、新たに「資源循環経済入門コース」を創設。講師には関根久仁子氏をお招きし、廃棄物を「貴重な資源」と捉え直し、ごみの歴史・政策から国内外の最新動向まで、多彩な専門家との対話で学びます。その他、社会課題に向き合う全 10 コースを開講。東京・大手町のビジネス交流施設 3×3Lab Future での座学の他、一部コースでは地域や農園、美術館へのフィールドワークも実施予定です。創造性を高める様々な講座の提供を通じて、組織での活躍や起業、社会貢献など人々の可能性を広げる機会を創出してまいります。



関根久仁子 氏



過去の開催の様子（左から繋がる観光創造コース、アグリ・フードビジネスコース、逆参勤交代コース）

本イベントではこれまで、学生からビジネスパーソンまで多くの受講者が、課題解決力や新規事業創出につながるヒントを学びました。地方創生に取り組む逆参勤交代コースからフィールドワーク先の地域との 2 拠点生活を開始する方や、アグリ・フードビジネスコースから地域生産者の販路開拓支援に携わる方、ライフシフト起業コースから実際に起業に挑戦する方を輩出するなど、キャリアやライフデザインを考える機会となっています。また、同時に講師やゲスト、受講生同士、フィールドワーク先の方々など多様な人的交流が促進され、各コース想いを共有しながらコミュニティを育んでいます。

- 公式ホームページ：<https://www.ecozzeria.jp/events/platinum/platinum2026.html>
- 過去プログラム開催レポート：<https://www.ecozzeria.jp/events/platinum/>

「第 11 期 丸の内プラチナ大学」コースガイド

●逆参勤交代コース（定員 40 名、全 4 回）

講師：松田 智生 氏（丸の内プラチナ大学副学長、高知大学 客員教授、三菱総合研究所主席研究員）

内容：人が動けば日本が変わる。逆参勤交代は、都市から地方への新たな人材循環で、普段行かない地で、普段出会わない人と交流する個人×地域×企業の「三方よし」の切り札です。今年度は岐阜県飛騨市、愛知県設楽町、佐賀県（鹿島市・太良町）を対象に、東京講座では市長、町長、地域のキーパーソンが地域の魅力や課題、逆参勤交代への期待を語ります。またオプションで各地で 2 泊 3 日の逆参勤交代フィールドワークを実施します。

●アグリ・フードビジネスコース（定員 30 名、全 4 回）

講師：中村 正明 氏（6 次産業化プロデューサー、関東学園大学 教授、東京農業大学 客員教授、大丸有「食」「農」連携推進コーディネーター）

内容：今年度は、東京都三鷹市「富澤ファーム」、茨城県那珂市「まるも農園」、千葉県香取市「でんじろう農園」の実践から、高付加価値を生み出す農業経営を学び、日本の農業が直面する後継者・担い手不足、人口減少社会における持続可能な地域農業の未来と可能性を考えます。

●繋がる観光創造コース（定員 30 名、全 6 回）

講師：吉田 淳一 氏（株式会社 N T T データ 経営企画本部、シニアスペシャリスト）

内容：『無いものねだりよりも、あるもの（人）探し！』 何となく地名は知っていても、その地域の人・文化に、深く触れたことはありますか？各地域で活躍するゲストの熱き想い、素敵な取り組みを知ること、気付きと行動変容に繋がる。受講後もゲストと地域に永く繋がることを願う講座です。『関係人口』より『感情人口』。

●アートフルライフコース（定員 30 名、全 7 回）

講師：臼井 清 氏（事業開発アーティスト、合同会社志事創業社 代表、アートナビゲーター（美術検定 1 級））

内容：「アートの持つ様々な魅力を体感し、人生を豊かにする自分らしい感性を磨く！」が人気の本コース。今期のテーマは、“拡張するアートの力”です。AI が日常になり、五感や身体性もデータとして扱われるようになった時、私たちは“人間らしさ”をどうやって実感すればよいのでしょうか？今まさに、“我々はどこからきてどこへ行くのか”が問われているような気がしませんか？“アーティスト”の様々なアプローチを起点として、この問いに、楽しく、少し真面目に向き合う講座です。

●ライフシフト起業コース（定員 30 名、全 7 回）

講師：塚本 恭之 氏（ナレッジワーカーズインスティテュート代表取締役、経営革新等認定支援機関 中小企業診断士、越境プロデューサー）

内容：人生 100 年時代の今、一つの組織自体から離れて自分自身のビジネスを始めたいと希望する方が増えています。本講座は“自分らしい”起業を学び、自身のビジネスを考える方のためのコースです。

●Social SHIFT テーブルコース（定員 12 名、全 4 回）

講師：服部 直子 氏（株式会社ソシオエンジン・アソシエイツ 代表取締役副社長、Medi nogizaka プロジェクト主宰）

町野 弘明氏（一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク 代表理事、一般社団法人社会デザイン・ビジネスラボ 常務理事）

内容：「希望を自分たちで創る」講座です。誰かに「希望」を創ってもらうのを待つのではなく、自ら動くことによって、自身や関わる他者の「希望」につながる／を創る、そんな目標を持った講座です。何か社会のために活動したい、という想いをお持ちの方、今年は、社会の課題の解決に挑む現場（ソーシャルビジネス・福祉・支援の現場）をフィールドワークし、その後、その分野の現状を深く学び、自己の意識・認識を変えながら、どんな社会にしていきたいか、ビジョンと一緒に考えませんか。「他者と共に生きる」「他者に関わる」とはどのようなことか、根源的なテーマを深く考える時間にもなります。

●再生可能エネルギー入門コース（定員 30 名、全 7 回）

講師：三上 己紀 氏（立命館大学上席研究員、大丸有ゼロカーボンスクールプロデューサー、エコツェリア協会 調査室長、次世代エネルギーアナリスト）

内容：このコースでは、エネルギー、都市、ライフスタイルなどを俯瞰しながら「再エネをイチからわかりやすく」楽しく学びます。環境に優しく、地球と対話し、世界とつながる力がとても大切な時代です。「まちと未来のこと」を考えながら、たくさんの仲間をつくりましょう。

●ウェルビーイングライフデザインコース（定員 30 名、全 7 回）

講師：前野 マドカ 氏（EVOL 株式会社 代表取締役 CEO、武蔵野大学ウェルビーイング学部 客員教授、一般社団法人ウェルビーイングデザイン 理事）

内容：本講座では、自分らしく幸せに働き、生き生きと幸せに生きる人生をデザインするためのヒントをともに学びます。6 年目の今年度は「美しいアクション～行動する～」をテーマに捉え、「私はこれからどう生きたいのか」「そのために何を行動するのか」を、ゲスト講師の講義と仲間との対話を通じて明確にしていきます。

●物語思考デザインコース（定員 30 名、全 7 回）

講師：梅本 龍夫 氏（有限会社アイグラム代表取締役、立教大学大学院社会デザイン研究科 客員教授）

内容：人生で起きる様々な出来事を「物語」として捉えることにより、多くの大切な気づきが得られ、より良い人生をデザインできたり、ビジネスや企業の変革の糸口が得られたりします。本講座は、不確実で変化の激しい時代における未来を見据えるための羅針盤ともいえる理論（「物語マトリクス理論」©梅本龍夫）をベースに個人、社会、時代の物語を巡ります。今年は、「AI 時代、人はいかに生きるのか？『空海』から学ぶ」というテーマに挑みます。

●資源循環経済入門コース（定員 30 名、全 4 回）

講師：関根 久仁子 氏（株式会社これやこの 代表取締役、一般社団法人フード・サステナビリティ協会 理事、環境カウンセラー、森林インストラクター、東京サーキュラーエコノミー推進センター アドバイザー）

内容：資源循環は新たな成長と経済安全保障の鍵です。本講座では、廃棄物を「貴重な資源」と捉え直す視点から、ごみの歴史や政策の歩み、国内外の最新動向から身近な循環について多彩な専門家と対話形式で学びます。ゲームやグループワークで楽しく学びながら、これからのビジネスや暮らしに活かせるヒントを一緒に考えましょう。

注釈

(*1) 「一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（大丸有協議会）、NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ大丸有）一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツェリア協会）」の 3 団体は連携して大丸有地区のまちづくりを推進しています。
URL：<https://tokyo-omy.jp/>

(*2) エコツェリア協会は、会社でも自宅でもない第 3 の場所「3×3Lab Future」を拠点として、「社会」「環境」「経済」をテーマに大手町・丸の内・有楽町（大丸有）地区のまちづくりを推進しています。大丸有地区に集う企業や大学、官公庁などのコミュニティ形成や、次世代の持続可能な社会の実現に向けて、未来につながる持続可能なビジネス創発に取り組んでいます。
URL：<https://www.ecozzeria.jp/>

本資料は本日付で国土交通記者会・国土交通省建設専門紙記者会・文部科学記者会へお届けしています。

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

大手町・丸の内・有楽町地区街づくり PR 事務局 共同ピーアール(株) PR アカウント本部 4 局 1 部 担当：内山・大木
TEL：070-4303-7327／090-7739-1083 FAX：03-6260-6653 E-mail：tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp